

# 平成30年度 倫敦日本人学校だより第5号 9月3日

## 充実した2学期に

## NRT学力検査の結果について

### 校長



楽しかった夏休みが終わり、2学期がスタートしました。日焼けした子どもたちがたくさん夏の思い出とともに元気に学校に戻ってきました。

おかげさまで大きな事故もなく夏休みを終えて、無事に2学期を迎えられたことが何よりです。

今学期は新たに42名の転入生を迎えて373名でのスタートとなります。

さて、2学期は1年で1番長い学期です。日々の授業については、じっくり、しっかりと取り組むことを大切にし、「自ら学び 深く考え 共に高め合う」児童生徒の育成に努めてまいります。

また、文化祭、写生大会、現地校交流など、多くの行事があります。今学期も子どもたちの成長にとって意義のある学習や体験活動になるように取組を進めていきたいと考えております。

2学期の始業式に、校長から子どもたちには「みんなで、心と力を合わせ楽しく充実した2学期にしましょう」と話しました。



これを達成するため、2つのことを2学期に頑張してほしいと伝えました。

#### ① 自分から進んで行動する。

いつでも、どこでも、だれにでも、進んであいさつしよう。人に言われるより前に、勉強したり、片付けをしたり、仕事をしたりしよう。

#### ② あたたかい心をもち相手の気持ちを考える。

自分のことだけでなく、相手の立場を考えられる人になろう。

子どもたちにとって実り多き2学期になるよう、教職員一同、保護者の皆様方との協力・連携をはかりながら子どもたち一人ひとりの成長を目指し、指導・支援に努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

本校では、毎年4月に小学部1年生を除き小学部2年生から中学部3年生の8学年で日本国内の教研式標準学力検査（NRT）を行っています。海外での学習が、日本国内と比較し果たしてどの程度なのかを把握し、教師の指導力向上に、また、子どもたちの学習の指針に生かすために行っています。個人の結果については、既に各ご家庭に配付されたことと存じます。全体の傾向としては、表の偏差値が示すとおり、日本国内の全国平均に比べ、どの学年もどの教科も比較的高い結果が出ています。特に中学生の英語の学力は非常に高いといえます。日本人学校の特徴として、当然のことといえば当然です。

しかし、着目したいのは、本校で力をつけることができているか？という点です。そこで、昨年の結果と比較し、1年間の学力の変化を見てみると、表3のようになりました。

表1 各学年の平均偏差値

	小2	小3	小4	小5	小6
国語	51.8	55.1	57.1	57.9	58.5
算数	52.8	53.4	56.9	60.6	59.7

表2

	中1	中2	中3
国語	58.3	56.4	58.2
数学	57.9	60.2	58.8
英語	—	65.5	64.3
社会	58.5	58.3	57.8
理科	56.1	53.6	54.3

表3 学力（偏差値）の変化

	小2→ 小3	小3→ 小4	小4→ 小5	小5→ 小6	小6→ 中1	中1→ 中2	中2→ 中3
国語	0.9	-0.2	2.3	-0.3	1.8	-4.3	0.8
算数・数学	-0.8	2.7	5.1	2.3	-1.8	1.1	-2.1

14項目中6項目でマイナスがありました。1年間の学習の成果と課題を明確にすることができました。但し、本校では毎年約3割の児童生徒が転出入により入れ替わりますので、その点は考慮すべき事項です。各ご家庭におかれましては、昨年の結果と今回の結果を比較し、お子様の学習の成果を確認してください。学校では、子どもたちの学習の課題を把握し、更なる授業改善に努めてまいります。

#### ☆ 教職員の異動についてのお知らせ

7月に竹中聡事務局長が退職され、柏原貴樹補習校事務局長が事務局長を代行します。英会話講師のLaura Whitehead先生、Michael Salter先生、Lydia Price先生が1学期で退職され、新しくAshley Baker先生、Henry Faulkner先生、Padraic Doyle先生が着任していますのでお知らせします。

## for ALL+for ONE



6月22日（金）からの3日間、5年生全員でリデイントンにあるPGLに自然体験教室に行きました。「for ALL+for ONE」とい

うテーマの下、みんなで声をかけ合いながら生活しました。

様々な活動をしました。特に子どもたちの心に残ったのは、ジェイコブズラダーという丸太で作った巨大なはしごを3人で協力して登っていく活動です。怖がる子どもたちも多かったですが、一緒に登る仲間が手を貸して引き上げたり、「頑張れ。大丈夫、私たちが支えているから。」と精一杯応援したりすることで、みんな高いところまで登ることができました。活動後、満面の笑みを浮かべる子どもたちを見て、仲間としての絆が深まったことを感じました。

生活する中では、自然体験教室実行委員、班長、部屋長など、みんなのために一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たしていました。また、一人のために優しく声をかけて支え合う姿や、時間を守ろうと自主的に行動する姿がたくさん見られました。

3日間を通して、互いを思いやりながら一生懸命生活することで、最高の楽しさを味わうことができました。この経験を胸に、5年生全員で今後の学校生活や行事に挑んでいきます。

## 2回目の公園探検



小学部1年生は、7月6日（金）にイーリングコモンへ校外学習に行きました。

主な活動は2つです。1つ目の活動は、カードにある植物を

グループのメンバーと協力して見つける「ウォークラリー」です。葉っぱや木の特徴をよく観察して探しましたが、暑さで目当ての花がしおれていて、見つけることに苦労していました。2つ目の活動は紙飛行機飛ばしです。図工の時間に様々な紙飛行機を作る練習をしました。そしてその中から一機を持参し、紙飛行機を青空に向かって飛ば

しました。はじめは飛ばすことが難しい子どももいましたが、ヘルプの方にコツを教えてもらったり、自分で修理をしたりしながら、遠くまで飛ばすことができました。新記録を目指して奮闘する子、滞空時間を長くしようとがんばる子、青空の下を元気いっぱい追いかけてきました。

今回の校外学習では、連日の高気温と間近に控えた運動会を考慮し、活動を短縮したり、帰校時間を調整したりしました。熱中症や子どもたちの体調に注意しながら、公園の特徴を生かした活動を2つ行うことができよかったです。子どもたちはいつも以上に元気いっぱいに体を動かし、活動を楽しんでいました。秋の校外学習も、子どもたちの安全や体調を第一に考えて、活動を設定していきたいと思います。

## 徹頭徹尾 ～一生に一度の仲間と共に～



7月14日（土）、第42回ロンドン日本人学校運動会が開催されました。昨年度は、降雨により全種目を行うことができなかった運動会。

今年度は絶好の運動会日和となり、紅白2チームが優勝を競い合いました。

開会式が終わり、競技が始まるやいなや当日の暑さを吹き飛ばすかのように、両組の熱い応援が繰り広げられました。個人種目や団体種目でも、児童生徒は最初から最後まで常に全力で取り組んでおり、その姿は見ていてとても気持ちのよいものでした。アリアンツパークが狭く感じられるほどの躍動感あふれるダンス、両組の児童生徒が一体となって胸を精一杯反らせ、声がかかるほど大きな声を出した応援合戦など、会場がひとつになる場面に胸を熱くされた保護者の方も多かったと思います。

また、道具の運搬、競技場所への児童生徒の誘導、得点の表示など様々な競技が教職員だけでなく、児童生徒の手によって運営されたことも忘れてはなりません。保護者の方々のあたたかな声援も児童生徒の大きな励みになったことでしょう。まさに、今年度の運動会スローガン「徹頭徹尾～一生に一度の仲間と共に～」が達成された運動会となりました。